

# 平成24年度学生生活調査

特殊調査編



島根県立大学

学生生活委員会

## 特殊調査における留意事項

### ◆生活満足度・生活重要度回答結果の得点化

特殊調査の設問においては、学生生活に関する学生の満足度ならびに重要度の分析に際して、下記のように回答結果を得点化し、その平均値を求めている。学生の生活満足度・重要度を数値化することによって、項目の比較分析を行っている。

項目	得点	項目	得点
満足	10	重要	10
どちらかと言えば満足	5	どちらかと言えば重要	5
どちらかと言えば不満	-5	どちらかと言えば重要ではない	-5
不満	-10	重要ではない	-10

### 【算式(加重平均)】

満足度

$$= \{ (\text{「満足」の数} \times 10) + (\text{「どちらかといえば満足」の数} \times 5) + (\text{「どちらかといえば不満」の数} \times -5) + (\text{「不満」の数} \times -10) \} \div \text{「無回答を除く回答者の数」}$$

重要度

$$= \{ (\text{「重要」の数} \times 10) + (\text{「どちらかといえば重要」の数} \times 5) + (\text{「どちらかといえば重要ではない」の数} \times -5) + (\text{「重要ではない」の数} \times -10) \} \div \text{「無回答を除く回答者の数」}$$

### ◆留意事項

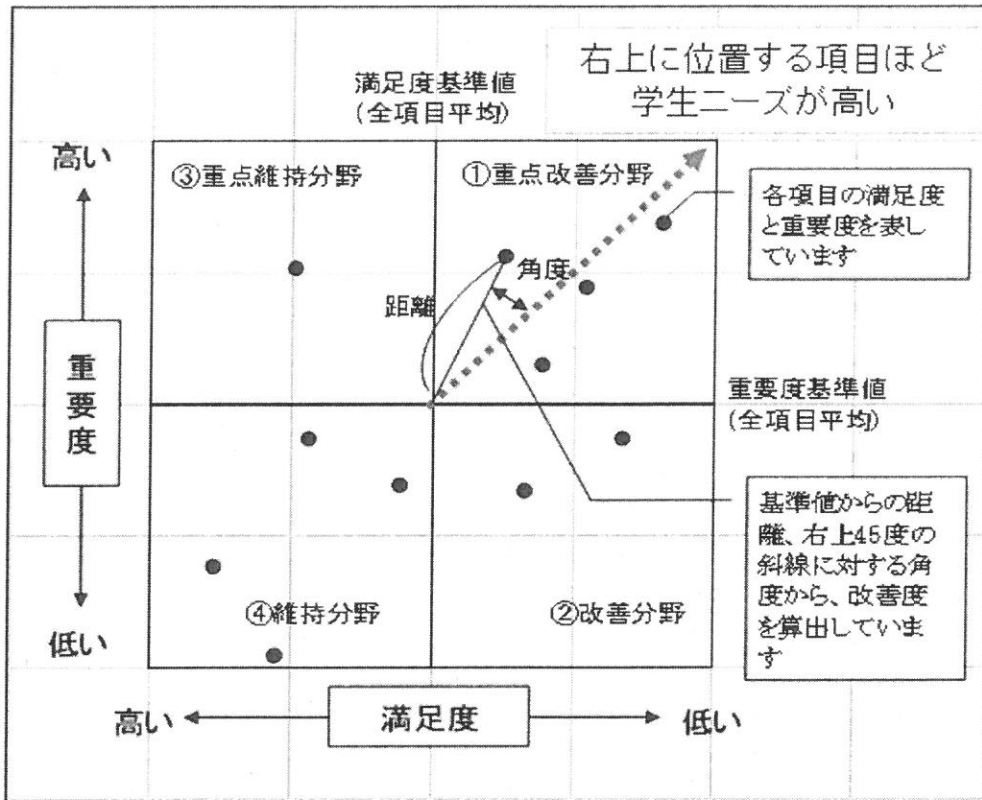
今回作成されたニーズマップは、満足度偏差値、重要度偏差値を用いていることからわかるように、あくまでも各項目間の満足度、重要度の相対的な差異によって作られている。したがって、設定された項目の中の二つ以上の項目の差異を捉えるために用いるものである。当然のことであるが、設定項目が変われば結果も変わり、設定項目数が変わればその結果も異なるものである。項目間の相対的な差異を示すものである点に十分留意して分析する必要がある。

◆満足度と重要度の比較

【満足度と重要度のクロス分析～学生ニーズのマップ化と得点化】

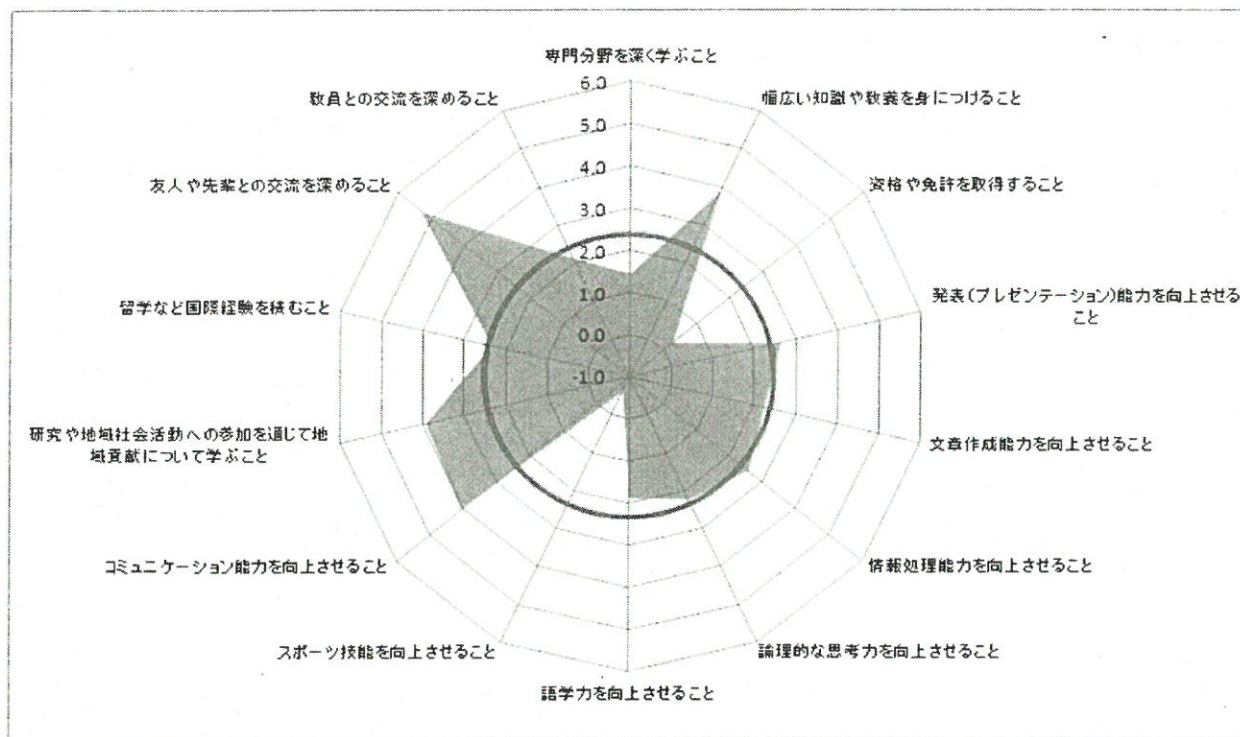
重要度を縦軸に、満足度を横軸に取り、各項目の満足度・重要度の偏差値を散布図に落とし込み、「ニーズマップ(CSグラフ)」を作成している。基準値は満足度・重要度それぞれの全項目の平均値とし、基準値より右上に行くほど、改善度(学生ニーズ)が高いことを表している。

<「学生ニーズマップ」の見方>



①重点改善分野	学生が重要と感じている項目で、かつ満足度が低いため、優先的な改善が求められる分野
②改善分野	学生があまり重要と感じていない項目だが、満足度を高めることが求められる分野
③重点維持分野	学生が重要と感じている項目で、満足度が高いことから、重点的な維持が求められる分野
④維持分野	学生があまり重要と感じていないが、満足度が高いため、満足度を維持していくことが求められる分野

## 【学生生活において身につけたいこと】の満足度



### ◆満足度レーダーチャートのポイント

- 全般に満足度は高め(平均スコア2.5)の傾向にある。
- 満足度が特に高いのは、「友人や先輩との交流を深めること」、「コミュニケーション能力を向上させること」、「幅広い知識や教養を身につけること」、「研究や地域社会活動への参加を通じて地域貢献について学ぶこと」などである。
- 満足度が低めなのは、「スポーツ技能を向上させること」、「資格や免許を取得すること」、「専門分野を深く学ぶこと」、「語学力を向上させること」などである。

◇満足度ランキング

順位	番号	全体	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	全体	満足度
1	(13)	友人や先輩との交流を深めること	267	406	80	19	31	803	5.3
2	(10)	コミュニケーション能力を向上させること	181	430	134	19	39	803	4.1
3	(2)	幅広い知識や教養を身につけること	145	482	131	16	29	803	3.9
3	(11)	研究や地域社会活動への参加を通じて地域貢献について学ぶこと	145	482	131	16	29	803	3.9
5	(4)	発表(プレゼンテーション)能力を向上させること	136	403	193	37	34	803	2.7
6	(6)	情報処理能力を向上させること	132	402	203	31	35	803	2.6
7	(5)	文章作成能力を向上させること	112	408	220	31	32	803	2.3
7	(7)	論理的な思考力を向上させること	105	415	223	27	33	803	2.3
7	(12)	留学など国際経験を積むこと	164	357	179	72	31	803	2.3
10	(14)	教員との交流を深めること	107	407	226	33	30	803	2.1
11	(8)	語学力を向上させること	120	383	210	59	31	803	1.9
12	(1)	専門分野を深く学ぶこと	69	419	243	44	28	803	1.5
13	(3)	資格や免許を取得すること	83	317	286	76	41	803	0.3
14	(9)	スポーツ技能を向上させること	99	264	257	149	34	803	-0.6
		全項目平均	1,865	5,575	2,716	629	457	11,242	2.5

<満足度ランキング>

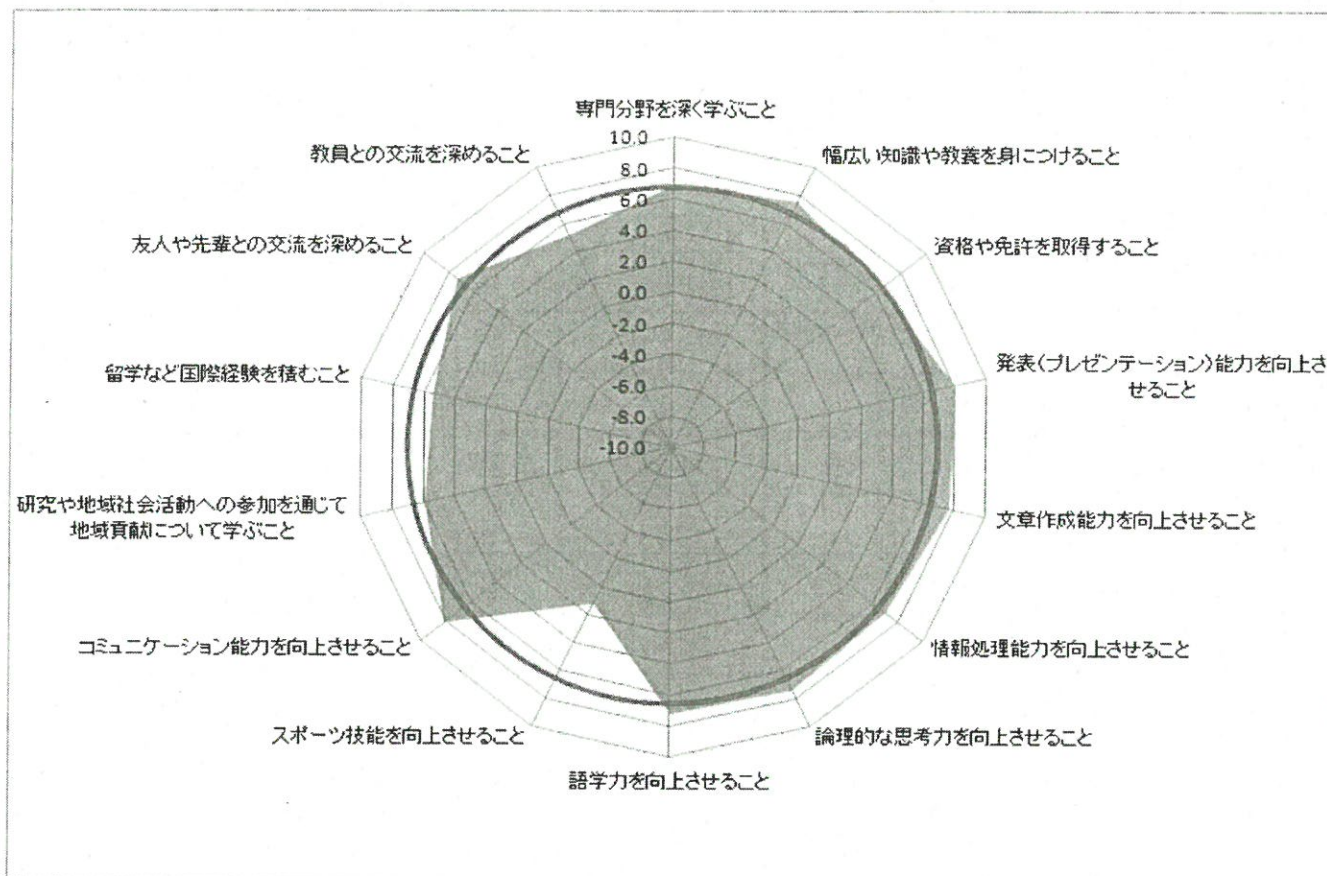
- ・ 学生の生活満足度は、-0.6点から5.3点の間に分散しており、全項目の満足度を平均すると2.5点である。
- ・ 平均値以上の項目は6項目で、「友人や先輩との交流を深めること」5.3点(1位)、「コミュニケーション能力を向上させること」4.1点(2位)、「幅広い知識や教養を身につけること」「研究や地域社会活動への参加を通じて地域貢献について学ぶこと」3.9点(3位)などが特に高いポイントとなっている。
- ・ 一方、全項目平均を下回った項目は8項目で、得点が1.0以下となった項目は「資格や免許を取得すること」0.3点(13位)、「スポーツ技能を向上させること」-0.6点(14位)である。

満足度について

- (13)項の満足度が高いのは、サークル活動やゼミでの活動などを通して、友人や先輩との交流が積極的に進められていることの表れであると考えられる。サークル活動については、今後もできる限りの支援をしていく必要があると考えられる。
- (10)項の満足度が高いことも、教員や学生間との交流によるものと考えられる。今後も、海遊祭、運動会などのイベントに十分な支援を行い、コミュニケーション能力の向上を図るべきである。
- (2)項の満足度が高いのは、総合政策学部が幅広い知識と教養の修得を目指している結果であろう。(1)項の満足度が低いことは、これに由来しているものであろう。
- (11)項の満足度が高いのは、ゼミや授業を通して地域貢献への関心が高いことや、教員の積極的な努力によるものと考えられる。
- (4)(5)(7)項の満足度が比較的高いのは、ゼミなどの少人数教育できめ細かい指導が行われていることによるものと考えられる。
- (6)項の満足度が比較的高いのは、情報教育重視の結果と考えられる。
- (12)項の満足度について、「満足している」と回答した学生割合が高いが、同時に、「不満である」と回答した学生割合が高い。これは、異文化理解研修等海外での活動に参加した学生と活動に参加できなかった学生の差異によるものではないかと考えられる。できるだけ多くの学生が、異文化理解研修などの国際活動に積極的に参加できる環境を整える必要がある。
- (8)項についても、(12)項と同様の傾向が見られる。語学の学習に不得意な学生の支援が必要であろう。
- (14)項の満足度がそれほど高くない。教員にとって、研究活動、教育活動以外の業務の負担が大変重くなり、学生との人間的な交流をとる時間的、心理的余裕がなくなっているのではないかと考えられる。学生を人間的に成長させるためには、教員との交流も大変重要であり、教員が、学生との交流活動にも十分な時間を割けるようにするべきであると考えられる。
- (3)項の満足度が比較的低いのは、総合政策学部が本来免許や資格の取得を目指した学部ではないことに由来する。卒業後地方で仕事をする学生にとって、自動車運転免許は必須であるので、自動車運転免許のような現実的な免許や資格の取得のための支援を行うことも検討すべきではないだろうか。
- (9)項の満足度が比較的低いのは、総合政策学部が本来スポーツ技能の向上を目指す学部ではないからであろう。



## 【学生生活において身につけたいこと】の重要度



### ◆重要度レーダーチャートのポイント

- 全般に重要度は高い(平均スコア6.6)傾向にある。
- 重要度が特に高いのは、「コミュニケーション能力を向上させること」、「発表(プレゼンテーション)能力を向上させること」、「文章作成能力を向上させること」、「幅広い知識や教養を身につけること」、「論理的な思考力を向上させること」などである
- その中で重要度が低めなのは、「スポーツ技能を向上させること」のみである。

◇重要度ランキング

順位	番号	全体	重要である	どちらかといえば重要	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	無回答	全体	重要度
1	(10)	コミュニケーション能力を向上させること	554	170	28	3	48	803	8.2
2	(4)	発表(プレゼンテーション)能力を向上させること	530	201	26	6	40	803	8.0
3	(5)	文章作成能力を向上させること	491	239	29	3	41	803	7.8
4	(2)	幅広い知識や教養を身につけること	465	265	31	4	38	803	7.6
5	(7)	論理的な思考力を向上させること	462	257	41	2	41	803	7.5
6	(13)	友人や先輩との交流を深めること	471	243	38	10	41	803	7.4
7	(8)	語学力を向上させること	461	241	45	9	47	803	7.3
8	(6)	情報処理能力を向上させること	434	269	51	5	44	803	7.1
9	(1)	専門分野を深く学ぶこと	394	322	43	6	38	803	6.9
10	(3)	資格や免許を取得すること	399	273	76	9	46	803	6.5
11	(11)	研究や地域社会活動への参加を通じて地域貢献について学ぶこと	361	300	78	21	43	803	5.9
12	(12)	留学など国際経験を積むこと	344	292	106	21	40	803	5.5
13	(14)	教員との交流を深めること	278	369	92	23	41	803	5.2
14	(9)	スポーツ技能を向上させること	176	262	222	101	42	803	1.2
		全項目平均	5,820	3,703	906	223	590	11,242	6.6

<重要度ランキング>

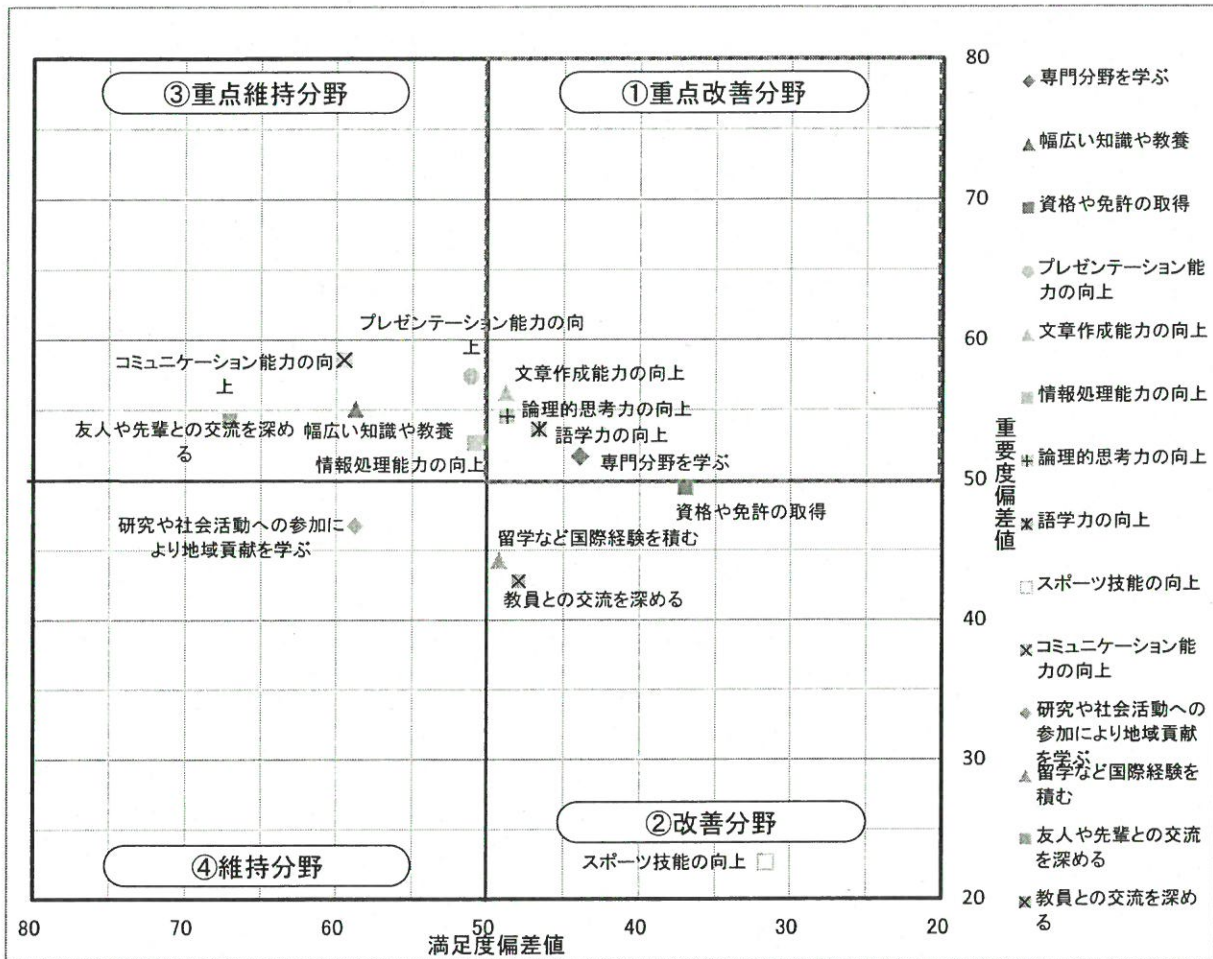
・学生の生活重要度は1.2点から8.2点の間に分散しており、全項目の重要度を平均すると6.6点である。  
 ・平均値以上の項目は9項目で、「コミュニケーション能力を向上させること」8.2点(1位)、「発表(プレゼンテーション)能力を向上させること」8.0点(2位)、文章作成能力を向上させること」7.8点(3位)などが特に高いポイントとなっている。  
 ・一方、全項目平均を下回った項目は5項目だが、「スポーツ技能を向上させること」1.2点(14位)と著しく低くなった以外は、5点以上の得点となっている。

重要度について

(10)(4)(5)(7)項の重要度が高い。これらを目指すためには、少人数教育が必要である。今後も、ゼミなどの少人数教育を充実させていく必要がある。  
 (2)項の重要度が高い。総合政策学部学ぶ学生が総合政策学部の目指すところを理解しているものと考え。  
 (13)項の重要度が高い。学生時代の友人関係は、学生の人生の宝物にもなり得るものであり、また、人間関係をうまく構築することは、今後の社会生活においても重要である。それを自覚しているものと考え。  
 (8)(6)項の重要度が高い。社会に出てから、語学力、情報処理能力が必要であるとの認識があるものと考え。  
 (1)項の重要度が高い。幅広い知識と教養を目指す総合政策学部において、専門科目を深化させることは、今後の課題であろう。  
 (3)項の重要度が比較的高い。資格や免許をとりたい学生の心情も理解しなければならない。  
 (11)項の重要度が比較的高い。地域貢献に意識の高い学生が多いものと考え。  
 (12)項の重要度比較的高くなっている。海外で活躍した学生が多くいるものと考え。ただし、「どちらかといえば重要ではない」と回答した学生がやや多いのは、海外に関心をあまり示さない内向き傾向の学生も一定数いることを示している。  
 (14)項の重要度がそれ程高くないが、学生が、教員とどのような交流を望んでいるか、更に調査する必要があると考え。  
 (9)項の重要度が低くなっている。本来、スポーツ技能の向上を目指す学部ではない結果であろうと考えられる。



# ニーズマップ 【学生生活において身につけたいこと】



## 《学生ニーズランキング 全回答者》

重点維持分野			重点改善分野		
番号	項目(略称)	ニーズ値	番号	項目(略称)	ニーズ値
(4)	プレゼンテーション能力の向上	3.1	(8)	語学力の向上	4.8
(6)	情報処理能力の向上	0.9	(1)	専門分野を学ぶ	4.2
(10)	コミュニケーション能力の向上	-0.4	(5)	文章作成能力の向上	4
(2)	幅広い知識や教養	-1.6	(7)	論理的思考力の向上	3.2
(13)	友人や先輩との交流を深める	-6.1			
維持分野			改善分野		
番号	項目(略称)	ニーズ値	番号	項目(略称)	ニーズ値
(11)	研究や社会活動への参加により地域貢献を学ぶ	-6.8	(3)	資格や免許の取得	6.1
			(12)	留学など国際経験を積む	-2.4
			(14)	教員との交流を深める	-2.4
			(9)	スポーツ技能の向上	-4.1

## ニーズマップについて

- (8)(5)(7)項が最重要改善分野に含まれている。ただし、いずれも満足度の平均値からそれほど離れてはいない。いずれも少人数教育が必要な分野であり、少人数教育の充実が必要であることを示唆している。たとえば、ゼミや語学教育においてクラスサイズを小さくするなどの検討が必要であろう。
- (1)項が最重要改善分野に含まれている。「幅広い知識や教養」を身につけながら、専門科目も学んでいくことは、容易ではないと考える。ただし、このようなニーズがあることも認識しておく必要があり、可能であれば、大学院進学へと指導することも考えられるであろう。
- (12)(14)項が改善分野に含まれている。ただし、いずれも満足度の平均値からそれほど離れてはいない。具体的な対応を検討する必要があるだろう。
- (3)項が改善分野に含まれている。学生の将来にとって有用な資格や免許を精査した上で、支援を検討する必要があると考える。
- (9)項が改善分野に含まれている。総合政策学部が目指す項目ではなく、特に対応の必要はないと考える。
- (4)(6)(10)(2)項が重点維持分野に含まれている。総合政策学部が目指す分野であり、これまで通り、充実した教育を進めていく必要があると考える。
- (13)項が重点維持分野に含まれている。学生間の交流活動や学内のイベントについて、これまで同様に積極的に支援していく必要がある。
- (11)項が維持分野に含まれている。地域貢献についての重要性を学生に十分に認識させるよう指導していく必要があると考える。